

デモ **空** ハ アル
カラ



ゆっくり
走ろう

Yu.say

僕は

気づけば空を撮っていた































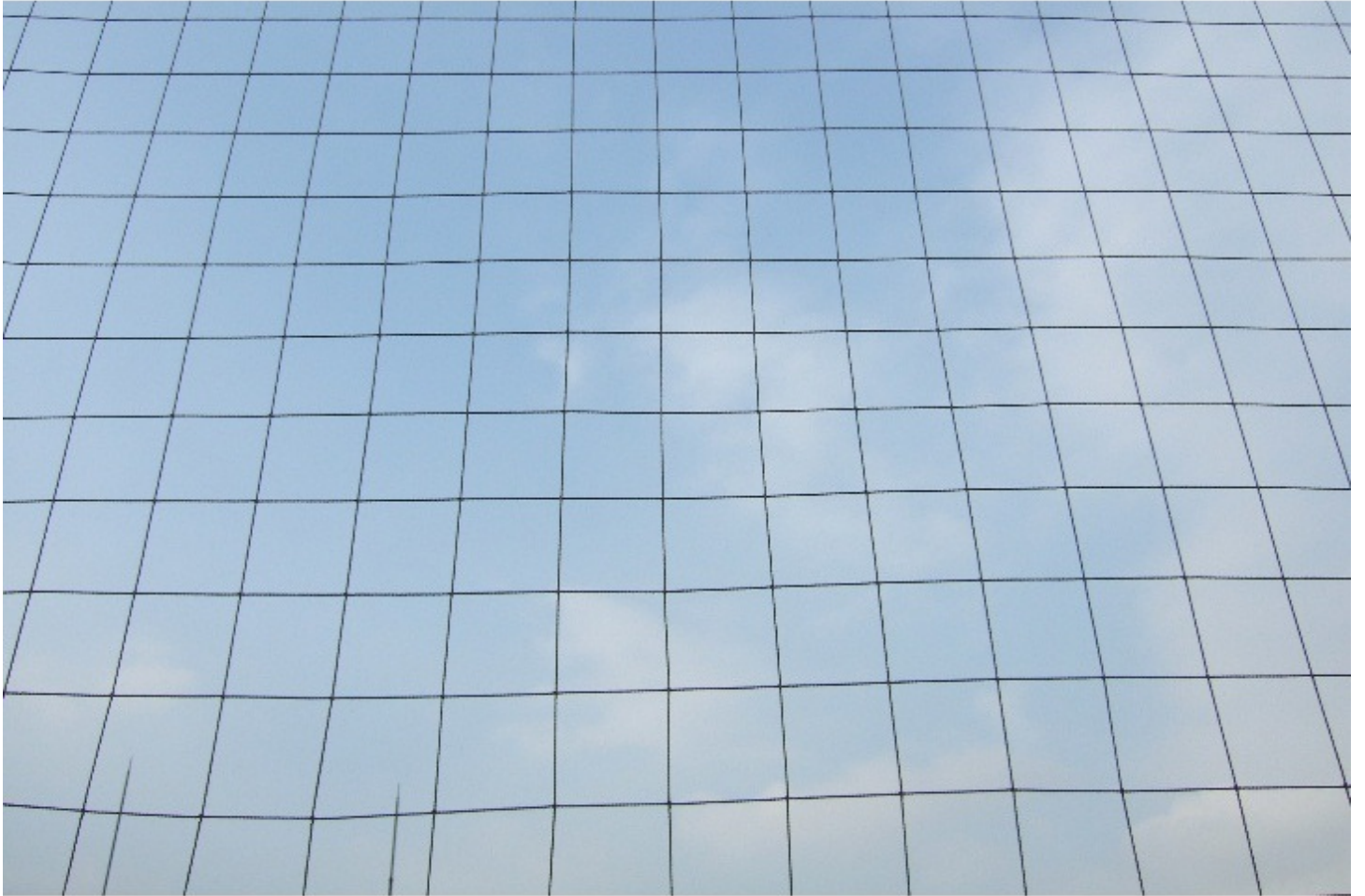








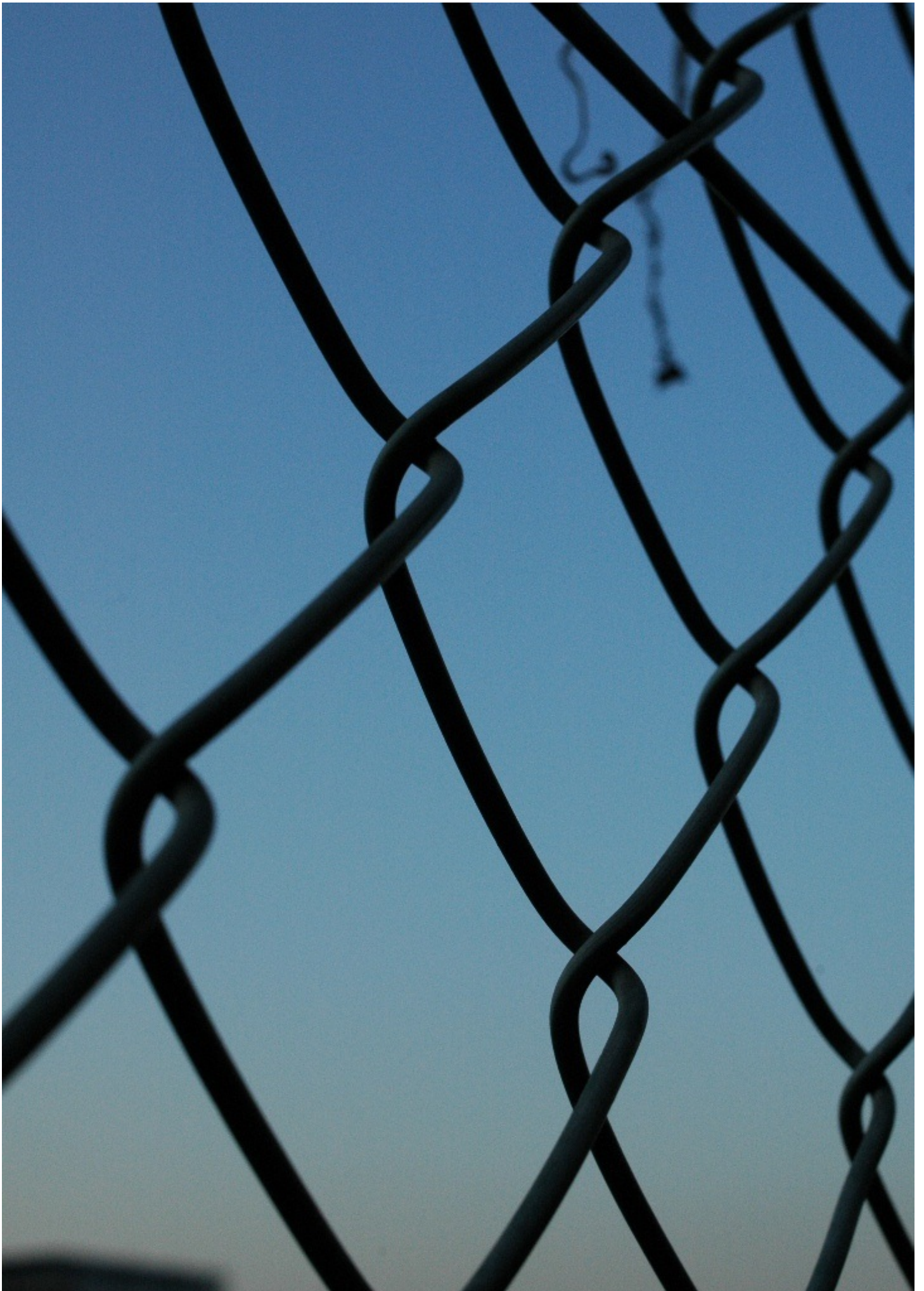






いつのまにか

疎外感を感じ始めた









途方に暮れた

青空だけが

僕を癒やしてくれた











ゆつくり
走ろう

「ゆっくり、走ろう」

矛盾する言葉

だけど

僕の心に響く言葉だった





そうだ！

ゆっくり、走りだそう！











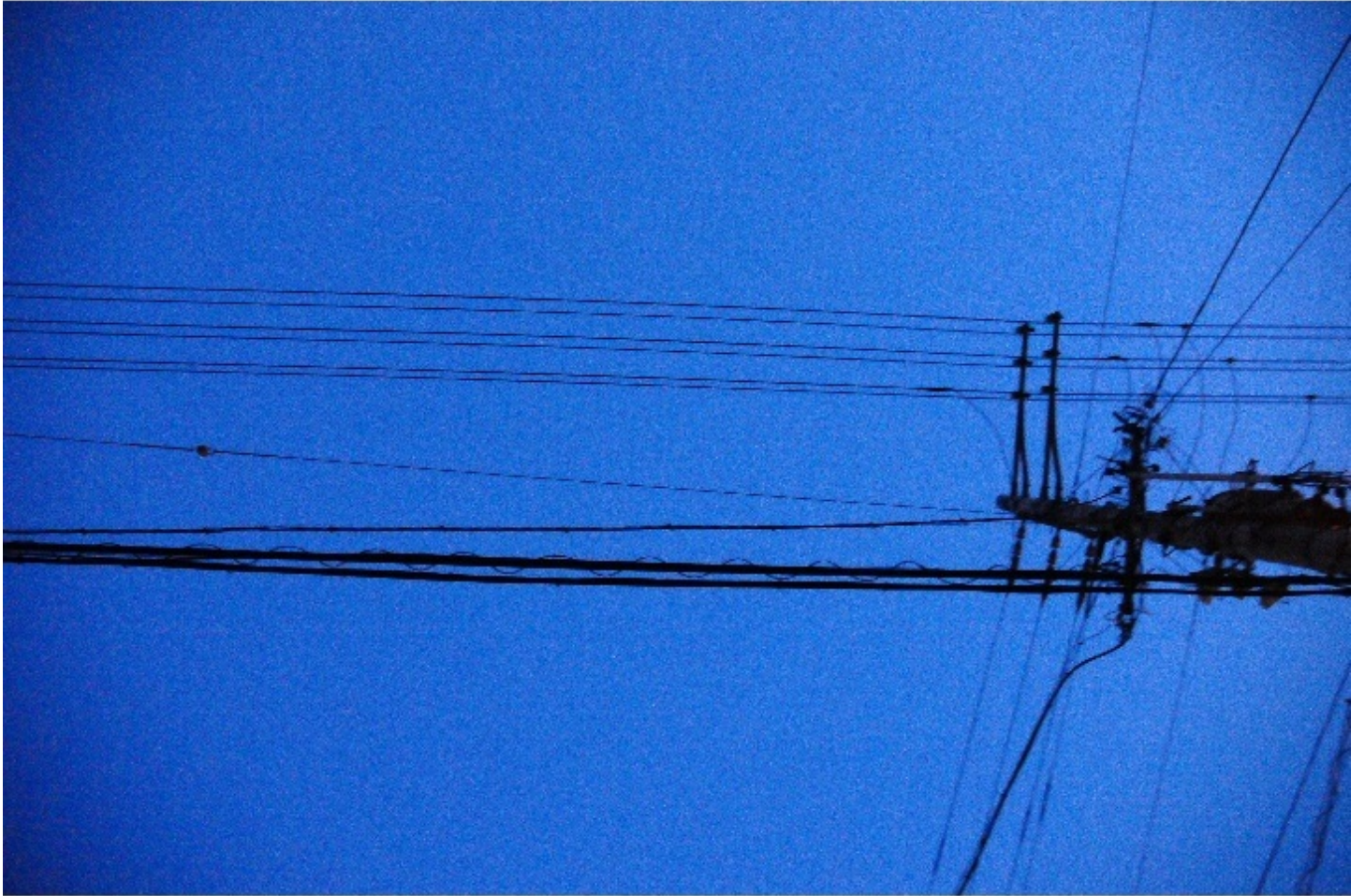


ゆっくりでいいんだ！

一歩ずつ、ゆっくり進もう







それでも

また、落ち込んでしまう





独りで

ふさぎこんでしまう

the 1990s, the number of people with a tertiary education has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 1). The increase in the number of tertiary graduates has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

The increase in tertiary graduates has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

The increase in tertiary graduates and tertiary institutions has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

The increase in tertiary graduates and tertiary institutions has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

The increase in tertiary graduates and tertiary institutions has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

The increase in tertiary graduates and tertiary institutions has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

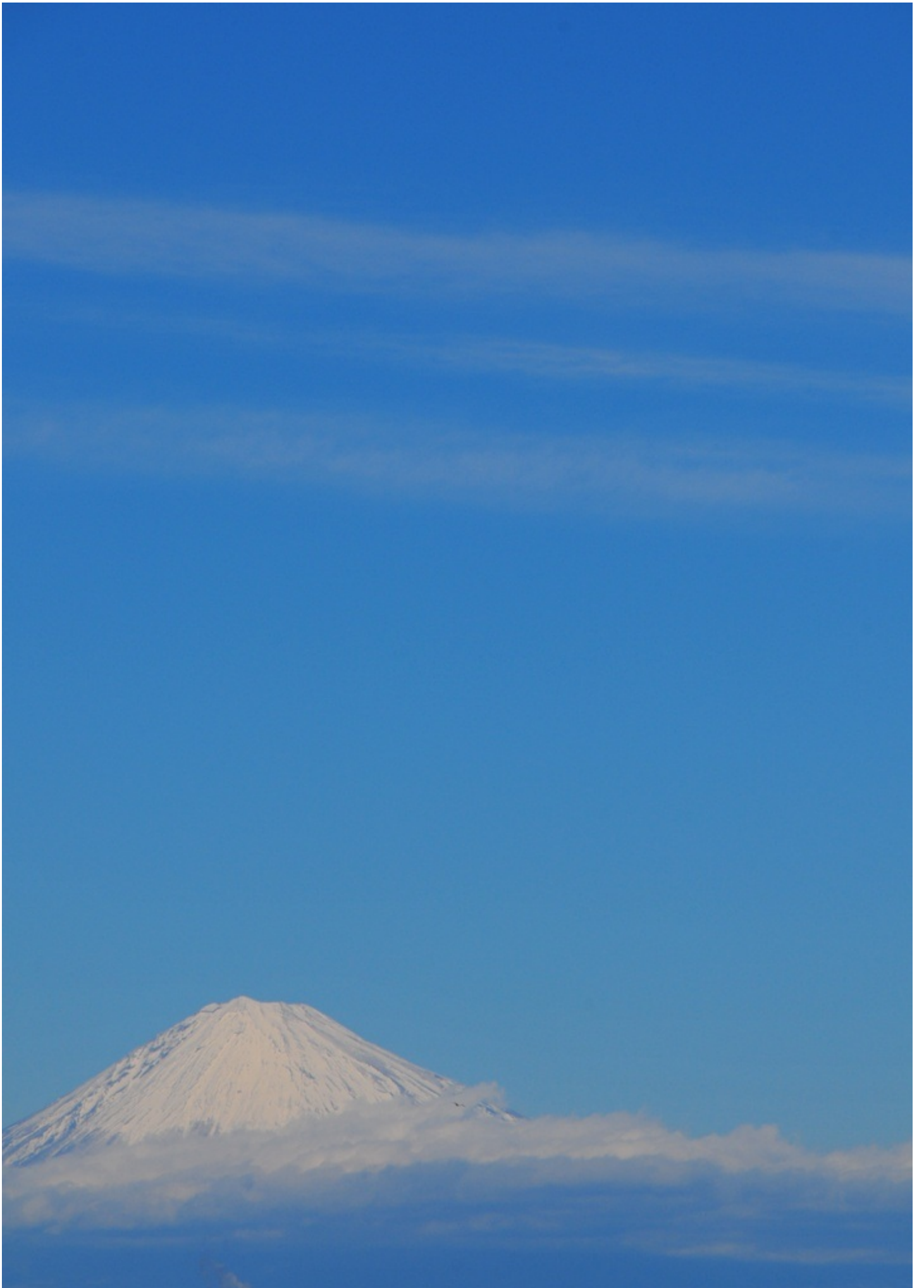
The increase in tertiary graduates and tertiary institutions has been accompanied by a corresponding increase in the number of tertiary institutions. The number of tertiary institutions has increased in all countries, but the increase has been most dramatic in the developing countries (see Figure 2). The increase in the number of tertiary institutions has been particularly rapid in China, India, and Brazil.

雨がやめば晴れる

青い空が、また見れる



















いつか、蕾が

花を咲かせますように



さあ

飛びだそう！





Yu.say

写真と共に生きるネットオタク



yusay.net



facebook.com/yusay.net



twitter.com/yusay

あとがき

ブックログの左上にある妙なアイコン。
クリックすると、この「パブー」にたどり着きました。

僕は[Facebook](#)や[Twitter](#)が気楽で、よく書いています。

でも、それではダメだ！と気づかされ、放置していたウェブサイトやブログをあらためて作り出しました。（まだ作りかけです）

また、Twitterなどソーシャルメディアを駆使されている方々は書籍（紙の本）や電子書籍を出されてきました。

実は、1年半前にタブレットを購入した際に、試しに電子書籍を買ってみました。その時は「電子書籍って目がチカチカして見にくい(泣)」そんなイメージでした。

まだ、電子書籍では読んでいませんが、池上彰さんと津田大介さんの『メディアの仕組み』はとても参考になりました。リアルやネットとか関係なく、伝えることのすばらしさ。僕も池上彰さんのように、たくさん本を書きたい！そんな思いも抱きました。

さらに、荒木経惟さんを詳しく知りました。

それまで、もちろん名前は知っていたし、実際に2冊の写真集と1冊のエッセイを持っていました。

でも、ちょっと過激な写真が多いので、あまり控えていました。

先日、妻・陽子さんとの写真集『センチメンタルな旅・冬の旅』に心を打たれました。放心状態でした。

その後、必死でアラキーさんの写真集やエッセイをたくさん読みました。荒木陽子さんの『愛情生活』も読みました。

さらに最近、僕の級友でDJである[U-DISQOくん](#)が、iTunesなど各音楽配信サイトで、オリジナル楽曲をリリースをしました。

僕も何か形に残したい！とても刺激になりました。

なかなかリアルの世界では実現しないことが、ネットでは出来る！

そして、この「パブー」との出会い。

「そうだ！せっかくだから、僕も電子書籍で写真集を作ろう！」と思い立ちました。
そう！僕の夢は「写真展を開くこと」そして「写真集を作ること」でした。

ただ、電子書籍だけでは、物足りません。

僕は「デジタル頼りのアナログ人間」です。

パソコンやインターネットも好きだけど、書籍（紙の本）も書店も図書館も、CDショップもレンタルショップも大好きです。

だから、いつか、きっと、いや、絶対に、リアルな世界で「写真展」を開催する！「写真集」を作る！と、ココで宣言します！

腰が重いインドアなので、いつになることやら(苦笑)

写真集もずっと前から[Photoback](#)などで作ろうと思って、結局作っていませんでした。

もし、その時が来て、「Yu.say(ユウセイ)」と言う名前を見かけたら、ぜひ、この電子書籍を思い出してください。

この写真集『デモ空ハアルカラ』は、僕の処女作であり、原点回帰でもあります。
この写真集を作ることで、たくさん撮ったデジカメ写真を見直す機会ができました。

たぶん、インターネットのあらゆる場所にいます。

なんたって「写真と共に生きるネットオタク」ですから(笑)

現在、この「パブー」にて、写真の本や、その他の本も書いています。

愛犬ブログや、フォトセラピー（と言っても「なんちゃってフォトセラピー」です）について書いています。

筆遅なので、いつになるか分かりませんが、また機会があれば見てください。

最後になりましたが、拙い写真・言葉を観て読んで頂いてありがとうございます。
まだまだ、いろいろ勉強途中です。

よく本を見ると「あとがき」に「執筆にあたり、〇〇さん、ありがとうございました。」など書くのですがののですが、どうも思い浮かばない(苦笑)

いや、正確に言うとも書ききれないくらいたくさんの人たちに、影響されて、支えられて、どなたを書けばいいのか思い浮かばない。本当にたくさんの方々に感謝を言いたくて、書き切れません。

でも、書かせてください。

両親、愛犬、そして彼女（未来の妻（予定））、こんな僕と一緒に居てくれて、本当にありがとう！

たくさんのたくさんの感謝を込めて、謝辞とともに、あとがきとかえさせていただきます。

2013年8月3日

Yu.say (ユウセイ)





Yu.say (ユウセイ/裕青)

写真と共に生きるネットオタク

*

写真は「思い出の記録」

カメラは「お守り」

音楽は「主食」

パソコンは「自分の可能性を最大限に引き出す道具」

インターネットは「情報収集と表現するの場所」

インターネットの世界は「生活の一部」

読書は「価値観形成の教科書」

青は「大好きなラッキーカラー」

思想は「Stream of Consciousness」

Yu.sayのウェブ

Website : yusay.net

Facebook : [Yu.say](https://www.facebook.com/Yu.say)

Twitter : [@yusay](https://twitter.com/yusay)

その他、多くのウェブサイトにも生息しています。

使用フォント

表紙

日本語：『やさしさゴシック』 『やさしさゴシックボード』（「[フォントな](#)」さん）

英語：『Vegur』（「[ドットコロ](#)ン」さん）

本文

日本語：『[ぼくたちのゴシック](#)』（「[Typing Art](#)」さん）

英語：『Vegur』（「[ドットコロ](#)ン」さん）

使用ソフト

書籍作成

Firefox 22.0

パプー・ウェブサイト

画像編集

Adobe Photoshop CS3

Picasa3

FinePixViewer

ApViewer

著作権について

写真もそうですが、フォントなども、ウェブ上ではとてもグレーゾーンが多くて、日々勉強中です。今回、フォントは「商用利用OK」と書かれた無料フォントを使わせて頂きました。

何か、不備などありましたら、一報頂ければ幸いです。

デモ空ハアルカラ

<http://p.booklog.jp/book/75048>

著者 : Yu.say

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yusay/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/75048>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/75048>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ